

水俣病訴訟を支援へ

「県民会議」の結成式

水俣病訴訟支援・公審をなくす
る県民会議（略称水俣病県民会
議）の結成が、二十四日午後二
時から、旭本市京町の県教育会館
で開かれた。

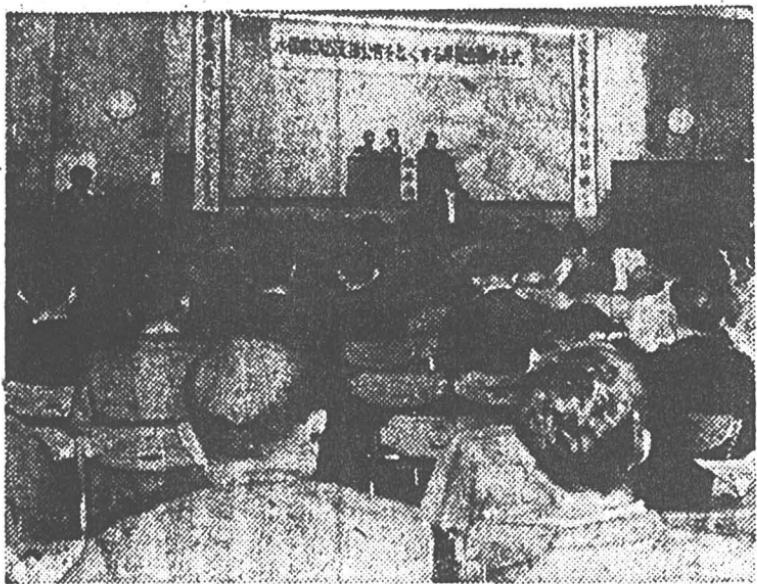
同会議は、訴訟派を支持、法廷
闘争の準備を進めていた県総評が
中心となって、具体的な支援体制を
固めるために、各団体、市民に呼
びかけ結成したもので、應者四人
を含む水俣病家庭互助会員十七人
をはじめ水俣病市民対策金團会
員、弁護士代表、来賓など関係者
百十二人が参加した。

調長団選出、來賓あいさつなど
のあと、家族代表の渡辺栄蔵氏、
弁護士代表森有度氏などが「裁判
に勝つまで戦い抜く」と決意を

表明した。このあと、家庭互助
会員がそれぞれ自己紹介、県民会
議がそれぞれ自己紹介、県民会
議結成を感謝するとともに、水俣
病にかかる家族の悲惨さを訴え
た。最後に「訴訟支援の戦いをす
べての県民に広げること」を宣言
して閉会した。

なお、同県民会議の役員には次
の五氏が決定した。

▽代表幹事 福田今寿（県社会
福祉協議会長） 森田誠一（旭大教
授） 上妻四郎（医師） 馬場昇（県
総評議長） ▽事務局長 李田恭輔
(県総評事務局長)



結成式の会場（県教育会館）